



本報告を踏まえ「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、  
学校施設全体で学びの施設を創造することが求められています。

▼今後の学校施設整備の在り方に関する報告書の公表について  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/mext\\_00972.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_00972.html)

▼「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告の公表について  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shisetu/044/toushin/1414523\\_00004.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/044/toushin/1414523_00004.htm)

◇◆ トピックス (2) .....  
JAPET&CEC「情報活用能力を育む授業づくりガイドブック」を公開  
.....◆◇

2022年3月、日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）は、  
「情報活用能力を育む授業づくりガイドブック」を公開しました。

「情報活用能力を育む授業づくりガイドブック」は、  
授業の構想や実践の学習プロセスに、  
情報活用能力を位置づけた「情報活用能力ベーシック」の  
解説や活用方法が取りまとめられています。

さらに、「情報活用能力を育む授業事例」と題して、  
タブレット端末を活用した事例など11教科が半ページずつ掲載されています。

例えば、小学校2年生の算数の授業では、  
図形の弁別の仕方を学ぶ際に、弁別の理由について  
根拠つけて説明できるようにすることで、  
表現力を育むことをねらいとした授業が取り上げられています。  
具体的には、図形の定義について考えて共有したり、  
身の回りにある図形をタブレットで撮影したりして、  
見分け方を確認する活動です。

また、小学校6年生の道徳では、  
自分とは異なる立場の人の思いがあることを理解し、  
広い心で相手を受け止めることができる判断力を  
培うことをねらいとした授業が取り上げられています。  
具体的には、教材を読んで登場人物を許せるかどうかについて、  
ロイロノートの付箋機能を活用し、  
考え方ごとに付箋の色を決めて、指定の色の付箋に書いて

共有するなどの活動です。

JAPET&CEC は、このガイドブックを授業に活用し、  
子供たちの情報活用能力の育成をすることを期待しています。

▼情報活用能力育成／コミュニケーション力育成

<https://www.japet.or.jp/activities/info-ut-ability-dev/info-ut-com/>

▼情報活用能力を育む授業づくりガイドブック

<https://www.japet.or.jp/wp-content/uploads/2022/03/47fd4bd337ee3d0d448459b0f2724aba.pdf>

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2022年4月5日調査）

☆★ （1）紛失・置き忘れ：8件 （2）誤配布：2件 （3）誤送信：2件

☆★ （4）ワーム・ウイルス感染：1件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2022年3月8日～2022年4月5日に合計13件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、  
漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

（1）紛失・置き忘れ

静岡県 2022年3月7日 県立高等学校 書類 1件

大阪府 2022年3月18日 府立高等学校 書類 延べ301件

秋田県 2022年3月18日 市立中学校 USBメモリ 不明

宮城県 2022年3月26日 市立小学校 USBメモリ 32件

東京都 2022年3月28日 書類 75件

東京都 2022年3月28日 SDカード 外付けハードディスク 延べ285件

福岡県 2022年3月30日 市立小学校 USBメモリ 42件

宮城県 2022年3月31日 県立特別支援学校 USBメモリ 17件

（2）誤配布

新潟県 2022年3月22日 県立高等学校 書類 3件

新潟県 2022年3月28日 県立高等学校 書類 1件

（3）誤送信

北海道 2022年3月11日 市立中学校 電子メール 92件



全体として未来の学校を創っていかうとしている。

予算は立てず、必要になったときに必要なリソースを出し合う、外部から獲得するという原則としている。

現在、10のチームにわかれ、それぞれの問題意識（「好き」）を起点に研究開発を進めている。

本プロジェクトは10のチームの研究開発により

未来の学校のモデルを提案することを一つの成果として目指している。

ほかにも、学校を開き、現場の問題意識（「好き」）を起点に学校を変革していく、そのプロセス自体をモデル化するというのもう一つの成果目標としている。

有識者等の一部の人がクローズした組織の中で理想像を描き、モデル化し、それを全体に広げていくというのではなく、

組織を開くことで参加者の問題意識（「好き」）が有機的に結びつき、内部から新しい価値を生み出していく、

学校を「共創空間」に変えることで学校が主体的に変化し、自ら新しい価値を生み出していく。

そのようなプロセスをモデル化したいと考えている。

本プロジェクトの「TEAM 先生たちがもっと輝く学校に。」ではプロジェクトに参加している人の働く場として

学校内にコワーキングスペースを設置し、

学校教員、児童生徒と常態的に場と時間を共有できるようにしている。

その時間と場で信頼関係が構築され、

時間が設定された会議ではない、議題も時間も気にしない無駄話が交わり、新たな問題意識（「好き」）が生み出されていくと考えている。

株式会社 JMC 様には

「TEAM GIGA スクール時代の教育データの活用法を考えよう。」にて学習のデジタルデータの収集と分析という「好き」に取り組んでもらっている。

数値化された学習データでなく、対話や記述等の言語を分析し、

教育・学習に活用していく方法を研究開発していただいている。

大変難しいテーマではあるが、現代的な待ったなしの喫緊の課題であり、

新たな価値が共創されていくこと期待している。

「未来の学校みんなで創ろう。PROJECT」を進めることで、

学校を開くことにより生み出される好き駆動型オープンイノベーションにより、

それぞれの地域の学校がそれぞれの価値を生み出しつつ、変革していく、

そのプロセスのモデルを引き続き提案していきたい。

#### ◆ 執筆者プロフィール ◆

金子嘉宏（かねこよしひろ）／

東京学芸大学教育インキュベーションセンター長／教授。

専門分野は社会心理学、教育支援協働学。

一般社団法人東京学芸大 Explayground 推進機構事務局長、

一般社団法人 STEAM Japan 理事、一般社団法人教育支援人材認証協会理事、

日本教育支援協働学会理事を兼任。

企業と大学、学校をつなぐ協働の推進、

新しい「学びの場」の研究開発、普及に取り組んでいる。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◆◆ 「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書（第2版）」を公開 ◆◆……

「令和2年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」

調査報告書を更新しました（11月12日時点での調査結果を反映）。

研修会などでご活用ください。

>> [https://school-security.jp/leak\\_all/](https://school-security.jp/leak_all/)

---

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町1-30-5 浜松町スクエア2階（株式会社JMC内）

<https://school-security.jp/>

---

▽ 「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が  
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、  
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>